インドネシア大学トップ１３校

	学校名	所在地	規模	ホームページ	特徴
1	ガジャマダ大学（Gadjah Mada University）	ジョグジャカルタ特別州	学生総数：47,081	https://www.ugm.ac.id/en	イギリスQuacquarelli Symonds社の世界大学ランキング（https://www.topuniversities.com/）320位（アジア74位, 2020年ランキング）にランクしており、このランク（世界500位以内、アジア100位以内）の大学は、インドネシアには本学含め2大学しかない。The Times Higher Education Supplementでは300位（2007年）に位置しておりインドネシアでは最も高い水準にある。 Webometrics Ranking of World Universities（2007年7月）では939位、アジアでは95位に位置する。同国でも最も歴史の長い国立大学。 教育、研究、コミュニティサービスで構成された大学活動に特徴を持ち、20学部と大学院で構成され、国内外において教育・研究で高い評価を受けている。国内では、毎年トップ３位内の大学ランキングを維持し、世界ランキングにも402位（The QS World University Rankings, 2018）に入っている。ガジャマダ大学は2010年のQS World University Rankingsにおいてインドネシアで2位、東南アジアで14位にランクインしており、インドネシアでトップの教育および研究活動が行われている。 （Times Higher Education World University Rankings 2019で1001+位、Asia University Rankings 2019で301-350位） 144haのキャンパスに、18学部（生物学部、経済学部、薬学部、哲学部、地理学部、法学部、人文学部、社会･政治学部、医学部、歯学部、獣医学部、森林学部、自然科学部、農学部、動物科学部、心理学部、工学部および農業工学部）が設置されている。Faculty of Cultural Sciencesには日本語日本文学科が存在する。獣医学部では、幹細胞研究や動物感染モデル、野生動物の遺伝学、魚の疾病についての研究が行われている。歯学部卒業生にも多くの海外進出者がいる．理科系の学部の中でも生物学関係の学部が複数存在するなど，生物系の教育研究に特に力を入れている。 国際交流に非常に力を入れており，日本を始め，多くの国の教育機関と交流協定を締結し，交流を行っている。また，大学の付属機関として就業期間が2〜3年間の専門学校がある。 当初、医・歯・薬学部、法・社会・政治学部、工学部、文・教育・哲学部、農学部、獣医学部の６学部からスタートした国立大学である。キャンパスの周囲ボルブドール仏教遺跡、プランバナン寺院遺跡群があり、何れも世界遺産に登録されている。また、ジョグジャカルタ市内には120あまりの大学があり、世界各地から留学生が集まる学園都市でもある。 インドネシアの政財界に広く優秀な人材を輩出している。例えば、森林学部出身のJoko Widodo氏が現インドネシア大統領である。また、ガジャマダ大学出身者が、農林分野の政府機関、大学･研究機関、企業などで要職に就いている。 校名はマジャパヒト朝の宰相を務めたガジャ・マダに由来している。
2	インドネシア大学（University of Indonesia）	西ジャワ州	学生総数：47,357	https://www.ui.ac.id/	1849年にインドネシア初の高等教育機関として設立されたJavanese Medical Doctor Schoolを母体として、1950年に現在の名称の総合大学となった。インドネシアを代表する研究大学であり、15学部から構成されている。学生総数は約13,000名、教員数約6,700名である。キャンパス内には銀行もあり、また、移動のためにスクールバスも運行している。毎年約10,000 人の卒業生を輩出し、科学技術分野から政界に至るまでさまざまな専門分野及び国の機関で活躍している。国際交流にも積極的で、オックスフォード大学、ワシントン大学、メルボルン大学、北京大学、シンガポール大学国立大学等30カ国の計134大学・機関と協定を締結している。日本では東京大学、京都大学、大阪大学、東京工業大学、千葉大学、慶応大学、早稲田大学等、すでに24大学がインドネシア大学の協定校になっている。留学生のためにインドネシア語コース を設置しているほか、生活面のサポートも充実している。海外大学との交流も活発でインドネシアにおいて最優秀と言える学生が集まる。1950年に設立された12学部を有する国立の総合大学である。国を代表する「5つのエリート 大学」の中で中心的存在。一年を春、夏、秋の三つの学期に分けて特別なプログラムを設けている。医学部と医科歯科学部はジャカルタの中心部サレンバにあるが、他の学部はジャカルタの南のデポックにあり、ここがメインキャンパスである。医学部は、医師らに産業医学専門家となるための卒後教育を提供している国内唯一の機関である。この産業医学専門家は、労働者の健康問題に関与する専門家の中でも最上位に位置することから、より高度な産業医学教育を提供することが求められる。工学部には溶接学科があり、今後溶接研究センターの設立などを目指している。化学工学科ではバイオプロセスの研究を実施している。 ここに拠点を置く高齢化研究センターは、学際的な研究拠点であり、この分野での国際交流の拠点でもある。 また高齢者のためのプログラム開発と事業実施を担う社会貢献活動の拠点でもある。 QS世界大学ランキング(2018)の発表によると、世界では277位、アジア地域では総合54位で、インドネシア国内では研究および教育機関としてはトップレベルである。 QS University Ranking ではインドネシア国内で１位である(2013)。 Times Higher Education（THE）によると、自然科学系、社会科学系ともにインドネシアで１位にランク付けされている。 THEによればインドネシアの医学部で1位にランク付けされている。

3	バンドン工科大学（Bandung Institute of Technology (ITB)）	西ジャワ州	学生総数：20,000	https://www.itb.ac.id/	インドネシアにおける最も優れた理工系国立大学と評価されている。5つの学部から構成され、学部生約15000人、大学院生約5000人を含む約2万人の学生が在籍している。教員約1,200人。 国立大学に入学するには統一大学入学試験を受けて合格するか、高校卒業時の全国試験結果に基づく推薦を受けなくてはならない。 インドネシアで実施されている統一大学入学試験の全受験者の上位１％ほどの者のみが入学できる難関大学で、そのうち電子電気情報系、産業工学系及び鉱業・石油工学系は他大学の医学系よりも高いスコアを必要とするとまでいわれている。オランダ領東インド時代の1920年にバンドン工業高等学校としてはじまり、1959年に科学技術・美術系の高等教育機関として創設された。 インドシア国内でのその評価は高く、政府から国の工学教育のモデル校として扱われている。初代Soekarno大統領、第3代B.J.Habibie大統領をはじめ、国内の主だった産業技術関連の官庁及び産業界に多くの優れた人材を輩出している。物理や化学、バイオテクノロジー、土木技術等の分野では、高水準の基礎教育に加え、応用分野において目覚しい研究成果を発表している。 オランダや日本との学術交流も頻繁に行われており、同大から欧米、日本へ多数の留学者を送り出している。 数学・自然科学、地球科学、鉱業石油工学、産業技術、機械宇宙工学、芸術、土木環境工学の7つのファカルティ、建築計画政策、生命科学、経済経営、生命、薬学の5つのスクールで学部が構成されている。 学術プログラムとして、大学学部プログラム、大学院博士前期、後期課程プログラム、および国際プログラムがあり、近年ではフランス、オーストラリア、日本、オランダ等の大学とダブル・ディグリー・プログラムを締結し、国際的に学生の受入れを促進している。次計画の対象(中心）の土木建築学部環境工学科（Faculty of Civil and Environmental Engineering）は土木、海洋工学、環境工学の各専攻をもつ。学術活動として、9研究グループを構成。うち、水に関係するものは、水資源工学、 海洋工学、 水及び排水工学、環境工学がある。土木環境学部には環境工学科があり、水、大気、廃棄物の研究を古くから行っている。 国内では、毎年トップ３位内の大学ランキングを維持し、世界ランキングにも300位（The QS World University Rankings, 2018）に入っている。 世界大学ランキング(THE2019)ではインドネシアの大学のうち第2位である。 インドネシアのTOP３（理工系ではトップ）に入る大学で、QS World University Ranking 2015/2016によると431位。 QS Asian University Rankingsでは、上位100位以内に度々ランキングされている。
4	アイルランガ大学（Airlangga University）	東ジャワ州	学生総数：39,414	https://www.unair.ac.id/	アイルランガ大学は東ジャワ州スラバヤ市東スラバヤ区に本部を置くインドネシアの国立大学である。1913年にインドネシア大学の分校として、設立され、1954年に完全大学として設置された。その研究・教育の質向上のため、世界中の大学とのコラボレーションを推進している。2014年にインドネシア国内で第3位のベストユニバーシティにランキングされた有力大学の一つである。 看護学部は1999年に創設され、インドネシア東部の看護教育を中心的に担っている。また、比較的新しい学部であるため、その教育・研究をより発展させるため、関連大学とのコラボレーションを積極的に進めている学部である。13学部、1大学院と、127のプログラムを有している。学生数は39,414人（2017年３月時点）。教員職員が1,522人、大学職員が2,002人勤務している。 アイルランガ大学歯学部は前進の歯科学校として1928年に開校され、1954年に同学部として創設された。インドネシア東部、東ジャワ島における歯科医学の主たる指導的機関で、現在約900名の学生が在籍している。 獣医学部では、幹細胞研究や人獣共通感染症の研究などが行われている。獣医学部は東南アジア地域において名の通っている学部である。本学のキャンパスは、3つに分かれ、その内のAキャンパスに医学部および歯学部が設置されている。 環境科学技術学部は環境問題（水質、排水、大気、土壌汚染）の課題解決となる高度な知識を持つ学卒者を輩出するように考えられている。さらに原理に基づいた問題を分析する能力も身に着けることができる。
5	ボゴール農科大学（Bogor Agricultural University）	西ジャワ州	学生総数：22,818	https://www.ipb.ac.id/	ボゴールに本部を置くインドネシアの国立大学で、1963年に設置された総合大学。インドネシアを代表する農学系大学。インドネシアで最高位の農業単科大学である。 現在は農学部、動物獣医学部、水産海洋学部、畜産学部、森林学部、農工学部、理数学部、経済経営学部、人間生態の9つの学部からなる。その他に関連する職業訓練部門やビジネススクールも開設し、さらに準学士のみならず修士号取得過程(一部の学部では博士号を取得可能)も設置し、インドネシアでトップの教育および研究活動が行われている。海外からの留学生を含め2万2252人の学生が在籍している。日本の大学および大学院を卒業した教員が多く在籍しており、日本の大学と友好な関係を築いている。 農学部は農作園芸学科、アーキテクチャラランドスケープ学科、植物病理学科、地域環境学科がある。 教員1,412名、学部生19,218名、修士課程学生（約2500人）、博士課程学生（約1100人）。農業工学・技術学部に関しては、学部、修士、博士学生は、それぞれ約2300人、200人、30人である。 ボゴールはインドネシア国内の農学の拠点でもあり、Indonesian Institute of Scienceの最大拠点や、SEAMEO-BIOTRP（東南アジア教育大臣連合トロピカルバイオロジーセンター）等も位置し、ボゴール農業大学はこれら共同研究の拠点ともなっている。 多くの農業大臣がこの大学を卒業している。 農科大学でインドネシアNo.1の大学で、QS World University Ranking 2018によると、世界701-750位。農業分野の大学ランキングでは世界の51-100位に位置。インドネシアでの大学ランキングは、ガジャマダ大学に続き、2番である。
6	セプル・ノーベンバー工科大学（Institut Teknologi Sepuluh Nopember (IRS Surabaya)）	東ジャワ州	学生総数：20,428	https://www.its.ac.id/	インドネシアの公立工科大学で、科学、工学、職業教育システムに重点を置いており、ITSには、27の学術部門を含む5つの学部がある。インドネシア初の太陽光発電船ウィディア・ワハナ・プロジェクトから、インドネシア初の太陽光発電車であるジャラパティ・プロジェクトまで、インドネシアにおける最先端の研究のパイオニアとして有名である。
7	ビナ・ヌサンタラ大学（Bina Nusantara University (BINUS)）		学生総数：33,497	https://binus.ac.id/	ビナ・ヌサンタラ大学では、ジャカルタに本部を置くインドネシアの私立大学である。1996年に設置された。 技術系の大学である。歴史がそんなに長くが、国内で最初の計算機科学専門の学校であり、今でもコンピューターに関するプログラムがインドネシアで高く評価を受けてる。情報システム学部、情報工学部、工学部、経営学部、経済コミュニケーション学部、デザイン学部、人文学部、情報学修士、情報システム管理修士号、経営学修士、経営学研究科等の教育プログラムを行ってる。 　また、日本の「早稲田大学」および「立命館アジア太平洋大学（APU）」と連携がある。

8	パジャジャラン大学（Padjadjaran University）	西ジャワ州	学生総数：41,412	https://www.unpad.ac.id/en	西部ジャワの高原都市バンドンに所在し、創立は1957年と国内では比較的古い歴史を持つ総合大学である。全16学部に約4万人の学生が在籍し、同国内で最大規模を誇る。同じバンドン市内にあるバンドン工科大学が工学分野を中心としているのに対し、パジャジャラン大学は医学・社会科学を含む非常に幅広い分野をカバーしている。日本で博士号を取得している教員も多数いる。インドネシアの高等教育機関は、国立高等教育アクレディテーション機構（BAN-PT）により5年ごとにその大学教育の質保証が査定されるが、本学全体でAランク（最高位）認証を受けている。農学部もAランク認証を持ち、環境保全農業に関する研究が盛んである。実施主担当者は調査や講義目的で何度か訪問した。その際に極めて優秀な学生に多く出会ったこともあり、優秀な招へい対象者を擁する機関であると確信する。16学部課程と14の大学院専攻課程をもつ（学生数：40,000）。化学科は数学・自然科学部に属し，有機化学・生物化学・分析化学・物理化学・無機化学の分野に47名の教員が所属する。歯学部は，1959年に設置された伝統ある学部であり，歯学領域を総合的にカバーする教育・研究を行っている。また2003年には，国際クラスを設置する等国際化にも積極的に取り組んでいる。
9	スラバヤ工科大学（Institut Teknologi Sepuluh Nopember (ITS)）	東ジャワ州	学生総数：22,935	https://www.its.ac.id/	1957年に設立されたインドネシアで最も歴史ある大学であると共に、工科系大学としてはインドネシアの5大学の一つに数えられる実力を有する。ジャワ島西部域のバンドン工科大学にならぶ東部域の理工系教育・研究の重点大学としてインドネシア政府の潤沢な予算措置がされている。東部ジャワ州の州都スラバヤに位置している。スラバヤ工科大学はその名前を所在地の歴史的背景に由来している大学である。 1945年11月にスラバヤの英雄であるBung Tomoはインドネシアの自由を守るために戦い、それ以降11月10日は英雄の日として祝福されており、スラバヤは英雄の町として広く知られている。地域・インフラ学部、都市・地域学部、建築学部、環境工学部、土木工学部、地質学部、海洋工学部の構成。 学生9,634人、教員326人。 2018年には、5学部23学科から10学部40学科へと約2倍規模の増設がなされた。 スラバヤ工科大学がホスト役をつとめるCommTECH（2週間の技術・文化交流プログラム）を2回/年開催して、毎回80名程度のアジア・欧米からの外国人の参加がある。現職の経済産業大臣をはじめインドネシア産業政策の重要なポストに人材を多数輩出している。 敷地面積180ヘクタール（東京ドーム約38個分）にも及ぶキャンパスでは科学、工学、技術教育と研究を中心に、コンピューターグラフィックやビジネスまで5つの学部と27の学科で全国から集まった選りすぐりの学生達が日々勉学に励んでいる。学内の敷地には，さらに2つの総合技術専門学校（電子工学および船舶海洋工学）が独立して運営されている．特に情報通信系は，長年のJICA事業との関係もあり中核大学として広く認知されている。マリンテクノロジー学部には海軍建築造船工学科とマリンエンジニアリング学科、海洋工学科、海運工学科がある。 Ranking Web of University では、インドネシア国内で第250位 https://www.webometrics.info/en/Asia/Indonesia%20 2019年に、ITSは研究技術高等教育省（Ministry of Research, Technology, and Higher Education）の評価に基づいて、インドネシアの最高の大学として4位にランクされ、QS世界大学ランキングによると、インドネシアのトップ10大学になりました。 教育と管理の側面とは別に、ITSは環境管理に強いコミットメントを持っています。その１つがスマートエコキャンパスプログラムです。
10	ブラウィジャヤ大学（University of Brawijaya）	東ジャワ州	学生総数：23,848	https://www.itb.ac.id/	インドネシアの東ジャワ州マラン市にある1963年に設立された国立の総合大学である。 学士課程から博士課程まで18の学部、221の学科ある。インドネシア屈指の有名校で、学生総数は約23,000人に及ぶ。東南アジアの大学トップ50に入っており、インドネシアの大学の中では5位にランクされている。農業工学部は農学と工学が融合した大学で、教育・研究内容は、農業生産分野、環境分野、土木工学分野等を幅広く含んだ構成になっている。 工学部は創立時に設立され、学内では最も古い歴史を持つ。工学部には約6500名が在籍している（2016年現在）。工学部はWater Resources Engineeringを始めとする8学科を有し、修士課程では6つ、博士課程では2つのプログラムを提供している。工学部の卒業生の多くは地方公共団体，国家機関に就職している。 農業工学部は農学と工学が融合した学部で、教育・研究内容は、農業生産分野、環境分野、土木工学分野等を幅広く含んだ構成になっている。日本語教育に力を入れている大学である。 Ranking Web of University では、インドネシア国内で第6位 https://www.webometrics.info/en/Asia/Indonesia%20
11	ディポネゴロ大学（Diponegoro University）	中部ジャワ州	学生総数：5,5743	https://www.undip.ac.id/language/en/home	ディポネゴロ大学（スマラン市）は、1957年に設立された国立大学である。学部学生数は34,000人を超えており、13の学部を有する。（工学部、農学部、海洋科学部、畜産学部、法学部、社会政治学部、医学部等）。1957年にインドネシア・ジャワ島中部スマラン市に創立された公立の総合大学で、ジャワ島中部の高等教育を担っている。大学院もある。水産・海洋科学部を擁している。教員数は2千名弱、学生数は5万5千人。http://www.4icu.org/id/の公式サイトで同大はインドネシア国内大学ベストキャンパスランキングで４位を獲得した。同ランキングの一位から三位は University of Indonesia (UI), University of Gadjah Mada (UGM)，Institute of Technology Bandung (ITB)が占めた。
12	IPB University	Bogor	学生総数：24,162	https://www.ipb.ac.id/	IPB大学は、インドネシアのボゴール県に本拠を置く国営農業大学。 この研究所は、20世紀初頭にオランダ植民地政権によって形成された農業学校として始まった。Institut Pertanian Bogorは、農業、家畜、獣医、およびライフサイエンスの研究を行っている。 IPBは、学部課程を提供する9つの学部で構成されている。大学院と大学院のプログラムは、別の大学院によって管理されている。 1972年にIPBは4年間の学部カリキュラムを実施し、1975年にインドネシアで最初の大学院を開設した。 IPBの学部生は、在籍しているにもかかわらず、学部や学部に入学する前に、Common First Year Program（Tingkat Persiapan Bersama（TPB））に合格するか、特定の学部および学部入学前にGeneral Competency Education Program（Program Pendidikan Kompetensi Umum（PPKU））を完了しなければならない。また、初年度は学生寮に住む必要がある。 Institut Pertanian Bogorには、学部から分離され、卒業証書プログラム局の下で管理されているディプロマプログラムがある。学部生とは異なり、ディプロマプログラムの学生は一般的な学部生（1年生）のプログラムを利用できない。
13	Telkom University	Jawa Barat	学生総数：32.729	https://telkomuniversity.ac.id/en/	国内外でさまざまな優れた業績を上げているインドネシア最高峰の私立大学。さまざまな国内および国際的な大学、産業界・企業、政府をつなぐ産学官コラボレーションを行ってきた。教授・講師陣は多くの卒業生から構成されており、各分野の中でも特に有能な教育スタッフを保持している。 教育と学習活動をサポートするための環境に配慮した「グリーンキャンパス」を学生に提供することにより、完全な設備やインフラストラクチャを配備している。 30カ国以上で働いてきた卒業生には優れたキャリアの見通しがあり、成功している若い起業家を数多く輩出している。テルコム大学からインドネシアと世界に向けた貢献を行っており、イノベーションをリードし研究成果を培ってきた。